

「あそびのレンズ」アンケート まとめ

1月18日(日) クリエイティブ・スペース赤れんが 参加者：10時=23人 14時=29人

心に残ったこと、感じたことなど、自由にお書きください。

- 小さな人がさまざまな道具（自然・人工物）を利用して、夢中に遊んでいる様子を見て、自分の子どもの頃を思い出した。(70代以上)
- 子どもの目線でお母さんが怒る顔を見るのってこんなにコワイんだ！と衝撃を受けました。子どものイメージの世界？を描いたアニメーション、めっちゃ良かった。私も子どもの頃はそういう想像の世界を生きていたなーって。「自主保育」→いろんな選択肢があってプレーパークがあることで身近に大人や子どもにとってそのいろんな選択肢が広がるのは良いことかな、と思いました。(40代)
- 自分が子どもの頃や今30~40になる子どもたちが子どもの頃の遊びを思い出しました。危ないと言って木登りをさせなかったお母さんがプレーパークで遊ばせて変わっていく様子が印象的でした。子供に青く塗られたレンズを通してみたら「ステキ」と思える感性がすてきだと思いました。(60代)
- 前半の風景（子育てに追われる日々、うまくかない日々）はみててつらかった。プレーパークが出ると安心してみれました。(50代)
- 子どもは人との関わりの中でこそ、楽しく成長するのだなと痛感しました。“子どもの目線”を思い出させてくれました。(60代)
- とにかく感動しました。本当の私はこんなふうに遊びたいんだよなあって。(40代)
- 子供の遊びってこんなにのびのびして楽しかったんだって思い出しました。(70代以上)
- 大人が忙しすぎる。子どもの世界をもっと広げたい。受験にしばられる社会は本当に正常かと思った。(60代)
- お母さんもとても大切にしていねいに子どもさんを育てておられるなと感じた。(自分の子育ての反省から)プレーパークと思って観に来たが、ふつうにステキな日常が描かれていて、自然にストーリーにひきこまれた。(60代)
- 現代の社会、若い人の気持ちなど伝わってきた。子ども時代は短いので楽しく元気に過ごしてほしい。(60代) ↑※以上午前
- 泥だらけ、やべえ！遊ぶこと、大人にも大事なことだと思いました。(60代)
- 自然の中で思い切り遊ぶことの面白さと大切さを感じました。(60代)
- 自分の子どもが小さかった時にどこで遊んでいたか、家に帰って家族とよく話してみようと思いました。どろ遊びってなかなかできる場所がなかったような。(50代)
- 子どもと接する仕事をしているので、子どもの目線、やりたい、やってみたいを止めない、大人ものぞいてみる、一緒に感じ楽しむことが大切なんだと感じました。今後の子どもの理解の参考にしたいです。(40代)
- 子どもの見ているふうけいがこの年になってもう一度見てみたいですね。きっと昔は見ていたのでしょうね。思い出せませんが…。(60代)
- 子育てを自然豊かな場所、おおらかなご近所さんに囲まれてできたことがとても幸せで貴重だったことを改めて感じました。自由に遊ぶ場所は子どもにとって必要なことだと感じました。(50代)
- 子どもにとって遊ぶことは大切と強く思い、思い切り遊べる場所が必要だと思っていました。今日の映画をみて大人が心から楽しんで遊ぶことが大切だと気づき、はっとしました。そのきっかけになるプレーパーク、ぜひたくさん。(40代)
- 皆で子育てをするあたたかさ。「今」をとことん大切に大事に味わって生きる、すげえ、あたたかさを感じました。大人も子どもも関係なく「共にあそぶ」「自主性」の中の育ちって、すてきで大切なことなんだなーと思いました。(30代)
- おとなも子どもも自分らしく自由に過ごせる居場所があるといいなと思いました。(40代)
- おもしろかった。(10代)
- 家族3人のみの生活は子ども目線で見ても、大人目線で見ても苦しかった。人が集まるっていいなと思った。近所の人も立ち寄れる公園がすてきだなと思った。(50代)

- 子どもは乳幼児期を過ぎましたが、その頃の思いがよみがえってきました。私はそんな親子（その時期の方々だけではないけれど）に声をかけられているかな、気にしてあげられているかなと思いました。地域のつながりを大切にしていきたいなと思いました。（40代）
- 責任の所在が問われなければどこでも出来るのに、と思いました。（50代）
- 大人も子どももあたりまえのように気がつかったり、無理をしたりして苦しんでいることって、結構誰にでもあるんだろうなと感じました。プレーパークはそこを自由に解きほどいてあたたかいもので包んでくれるような雰囲気がすてきでした。（30代）